

みやこ
京の環境共生推進計画
環境レポート(案)
～平成22年度版～



環境への負荷の少ない持続可能なまち
「環境共生型都市・京都」

京 都 市

はじめに

環境レポートは、京都市の環境行政の基本計画として策定した「**京の環境共生推進計画**」の進ちょく状況等を、市民・事業者の皆様にお伝えし、くらしと環境とのつながりをもっと身近に感じていただくことを目指して毎年発刊しています。

『環境レポート』の特徴

○ 環境指標をものさしに、環境の状況を分析しました！

環境指標の最新の値に基づき、計画の進ちょく状況をわかりやすくお知らせしています。

○ 施策のトピックスを紹介します！

積極的に施策へ参加していただくために、身近に取り組める事業やイベントをトピックスとして紹介しています。

環境学習のテキストとしても御活用ください

本レポートを地域や職場の研修、学校での環境学習などのテキストとしてご活用ください。

また、「京都市の環境をあなたがチェック！～環境レポートによる意見募集～」のテーマで、「京都市政出前トーク」を実施していますので、ぜひお申込みください。

市民意見募集について

本レポートを皆様との大切なコミュニケーションツールと位置づけ、今後の環境の保全に関するさまざまな施策・事業に反映させていきたいと考えております。

本冊子に添付した用紙にご記入のうえ、皆様のご意見、ご感想をお送りくださいますようお願い申し上げます。

目次

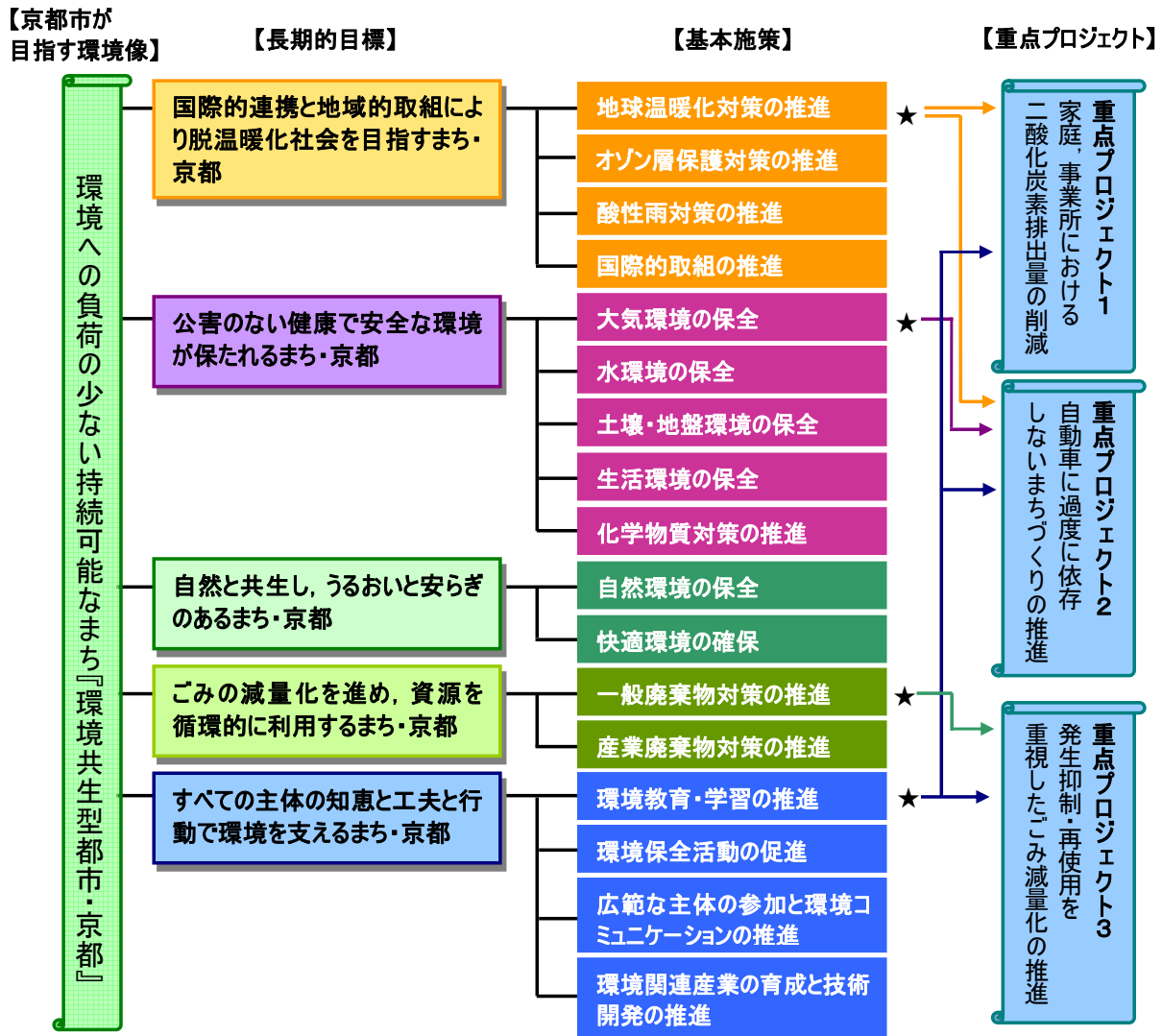
はじめに	1	長期的目標2 公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都	11
目次	1	長期的目標3 自然と共生し、うるおいと安らぎのあるまち・京都	13
計画の施策体系	2	長期的目標4 ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都	15
重点プロジェクトの取組について	3	長期的目標5 すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都	17
重点プロジェクト1 家庭・事業所における二酸化炭素排出量の削減	3	環境関連施設の紹介	19
重点プロジェクト2 自動車に過度に依存しないまちづくりの推進	4	主な市の取組の紹介	20
重点プロジェクト3 発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の取組	5	助成制度の紹介	22
人と自然が共生することの大切さを学ぼう！	6	平成21年度版 環境レポートへの市民意見について	23
区の取組の紹介	7	お問い合わせ先	23
長期的目標の進ちょく状況	9		
長期的目標1 国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都	9		

計画の基本的事項

計画の目的・位置付け 本計画は、「京都市環境基本条例」の規定に基づき策定したもので、環境の保全に関する個別分野の施策の大綱などを示す環境行政のマスタープランとして位置付けられるものです。

計画の期間 平成 18 年度～27 年度までの 10 年間

計画の施策体系



◆重点プロジェクトは、京都市をとりまく環境の現況や市民の関心から、優先的に取り組む分野を選定したものです。

計画の推進

計画(Plan)の着実な推進を図るために、計画の目標実現に向けた施策・事業の状況等(Do)を定期的に評価し(Check)、適切に見直し推進する(Action)、としたPDCAサイクルの手続きに沿って実施しています。

進捗度分類について

😊: 良い状況, 😐: どちらともいえない, 😞: やや悪い状況

環境指標のうち目標値をもつ数値目標とプロジェクト目標について、下表のように進捗を評価しました。

4段階評価	◎(目標よりも進んでいる)	○(ほぼ目標どおり)	△(目標よりも遅れている)	×(目標よりも大幅に遅れている)
年々増加・減少する項目	翌年度の年目標値以上	前年度の年目標値以上 翌年度の年目標値未満	3年度前の年目標値以上 前年度の年目標値未満	3年度前の年目標値未満
京都市環境保全基準	80%以上	60%以上 80%未満	40%以上 60%未満	40%未満

重点プロジェクト1 家庭・事業所における二酸化炭素排出量の削減

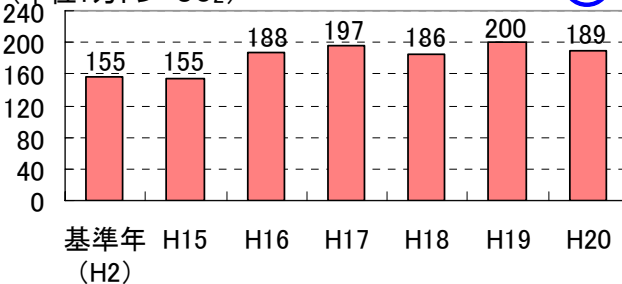
二酸化炭素の排出量は減ってきていますが、家庭と事業所から排出される二酸化炭素量が増加しています。

温室効果ガス排出量の約95%が二酸化炭素なんだよ

民生・家庭部門の二酸化炭素排出量の推移

家庭から排出される二酸化炭素量は基準年から約22%増加しています。

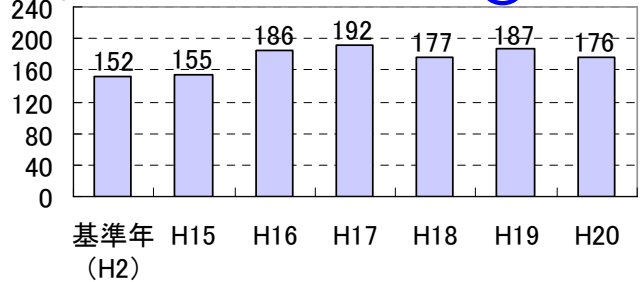
(単位: 万トン-CO₂)



民生・事業所の二酸化炭素排出量の推移

事業所から排出される二酸化炭素量は基準年から約16%増加しています。

(単位: 万トン-CO₂)



エコちゃん

Q.増加し続けて地球温暖化が進むと、私たちの生活はどうなるんだろう？

- A.** ○日本では、コメの白未熟粒の発生(右写真)、果実の着色不良、病害虫の多発など、近年の高温化による農作物生育への影響が懸念されています。
- 猛暑日や熱帯夜が増え、熱ストレスによる死亡リスクや熱中症患者が増加し、病人やお年寄り、子どもの健康に悪影響をもたらすおそれがあります。
- 急激な気候変動に適応できない動植物が減少し、最悪の場合は種の絶滅をもたらすおそれが高まります。



コメの白未熟粒の発生
(農林水産省 H20 地球温暖化影響調査レポートより)

Q.二酸化炭素削減のために私たちにできることは何だろう？

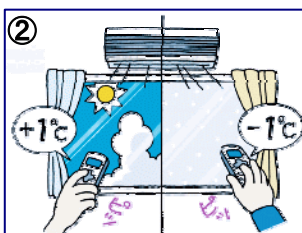
A.省エネ・省資源のくらしを心掛けよう！

私たちの生活に不可欠な電気などのエネルギーを作る際に、あるいは自動車を利用した際に、石油などの化石燃料が使われ、二酸化炭素などの温室効果ガスが発生しています。

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりが地球温暖化という問題に向き合い、省エネ・省資源の生活を実践し、温室効果ガスを減らすことが大切です。

- ① 使っていない部屋の電気は消しましょう。
- ② 室温を調整し、冷房時は28℃、暖房時は20℃に設定しましょう。
- ③ 買い物に行くときは、必ずマイバッグを持参し、レジ袋や過剰包装を断りましょう。
- ④ 自動車の使用を減らし、公共交通機関や自転車を利用しましょう。
- ⑤ 家電製品を買い替える際には、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

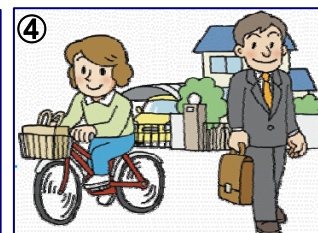
そうか！みんなもできる簡単なことだね



エコを意識した室温設定



過剰包装を断りましょう



車の使用を減らしましょう



購入時は省エネラベルを確認

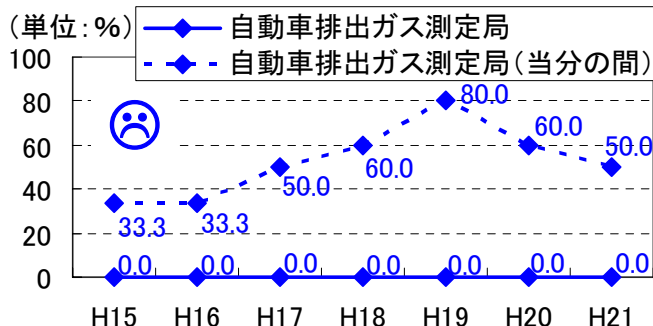
◎環境家計簿をつけて、どれくらい省エネできたかチェックしてみよう！

重点プロジェクト2 自動車に過度に依存しないまちづくりの推進

車を利用しすぎると空気が汚れたり、地球温暖化が進行します。

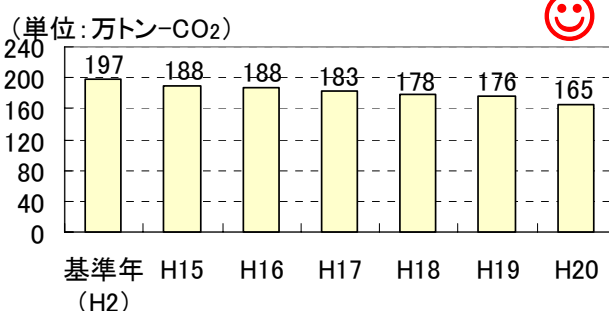
大気の大気汚染物質の市保全基準達成率の推移

自動車の排気ガスが主な原因の一つである大気汚染物質の市保全基準は全測定局で未達成が継続しています。



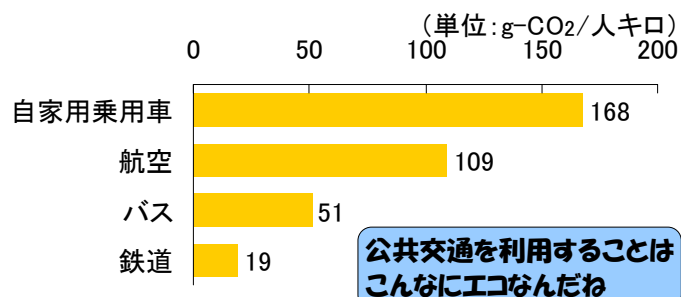
運輸部門の大気汚染物質排出量の推移

運輸部門の大気汚染物質は約9割が自動車から排出され、基準年から16.2%減少しています。

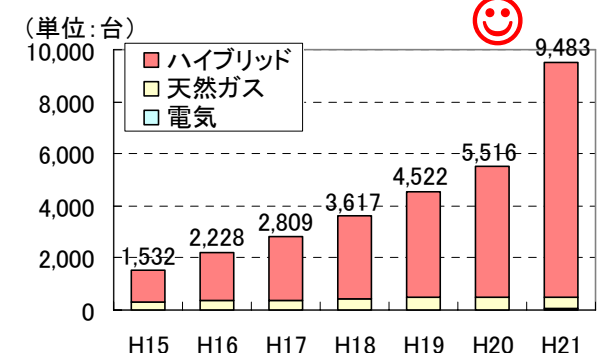


車を使う代わりに公共交通を利用すれば、もっと快適な環境に変えることができます！

人1人を1キロ輸送するときに排出される大気汚染物質量を比べると、鉄道は自家用乗用車の1/9、バスは自家用乗用車の1/3以下しか排出しません。



平成21年度の低公害車の登録台数は9,483台であり、年々増加しています。



「パーク アンド ライド」～マイカーから公共交通に乗り換えて市内を楽しもう～

近隣自治体や市周辺部の駐車場事業者等との連携の下、土曜・日曜・休日に市内外10エリア19駐車場で、パークアンドライドを実施しています。

また、観光シーズンやお盆、年末年始など、自動車交通の増加に併せ、民間企業や大型商業施設等の駐車場を活用するなど、パークアンドライドの充実を図っています。

【パークアンドライドとは】

市内への自動車流入抑制と環境負荷軽減を目指し、マイカーから公共交通に乗り換えて目的地まで移動する取組

Q「カーシェアリング」って何？

無料で電気自動車を体験できるよ！

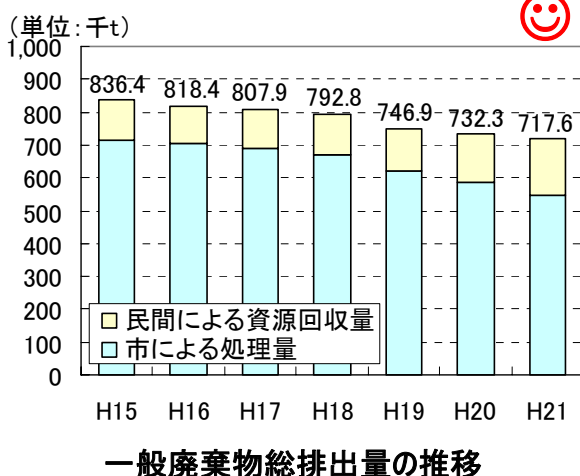
A. 同じ車を友達やご近所の方で共同利用することです。

電気自動車(EV)が広く普及していくことを目的に、電気自動車を市民、事業者の皆様に無料で利用いただくカーシェアリング事業を実施しています。平成21年度は83件の利用がありました。



重点プロジェクト3 発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の推進

ごみは減ってきています。でも次の世代まで美しい京都を引き継いでいけるかな？



市民の皆様の家庭ごみ有料指定袋制の導入へのご協力等により、平成 18 年以降、一般廃棄物総排出量は年々減少しており、平成 22 年度及び平成 27 年度の目標値をすでに達成しています。

しかし、次の世代に**美しい京都**を引き継いでいくためには、さらなるごみの減量と分別が必要です。

京都で暮らす、京都で学ぶ、京都で働く、そして、京都に集う一人ひとりの皆さんの力を結集し、ごみを減らすことで、『低炭素社会』、『循環型社会』を実現しましょう。

Q. でも、ごみを減らすと、どんな良いことがあるの？

A. 1. 温室効果ガスの削減にもつながります。

将来世代に青く美しい地球を引き継ごう！

2. クリーンセンターを現在の4工場体制から3工場体制に見直すことができます。

建替え経費 400 億円、運営経費8億円を節約できます！

3. 埋立処分場が 70 年以上使用可能になります。

今ある埋立処分場は完成までに 22 年の年月、520 億円以上もの経費がかかっています。

美しい環境を引き継いで、孫の世代まで貴重な埋立処分場を使いましょう！



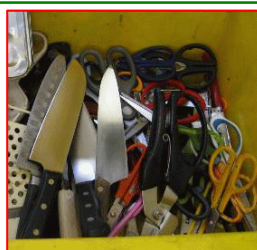
Q. 分別して出したプラスチック製容器包装はどのように処理されるの？

A. 回収されたプラスチック製容器包装は、市内2箇所の中間処理施設(西部圧縮梱包施設・横大路学園)で用途に応じた選別を行った後、リサイクル事業者に引渡しています。これらは、プランターなどのプラスチック製品や化学原料にリサイクルしています。



選別作業中にケガが発生しました # 分別にご協力ください。

収集したプラスチック製容器包装は、職員が手作業で異物を取り除いています。刃物や注射器などの在宅医療器具の混入により、ケガが発生しています。



混入していた危険物(包丁、注射針など)

“人と自然が共生することの大切さ”を学ぼう！

人類は、生態系を利用することによってさまざまな恩恵を受けてきました。しかし、近年、人口の増加や科学技術の進歩が人間活動を増大させ、生態系の断片化と破壊、生物多様性の減少を引き起こしています。これによって、人間が豊かな生活を送るための基礎が脅かされています。生態系の恩恵を持続的に利用するためには、人と自然が共生することが大切です。

都市部における自然再生の成功事例として、様々な生き物が生息し、観察しながら環境学習できる梅小路公園内の「いのちの森」について紹介します。

「いのちの森」ってどんなところ？

◆1996年に開園された面積約0.6haの緑地

◆朱雀の庭と一体となつた**いのちの森**は、都市空間に自然の生態系を復元したビオトープ。

右写真は樹冠回廊を豊かに覆う樹木(整備後14年)



いのちの森を上空から撮影

いのちの森の豊かさを生物種数で表すと

平成8年から21年までに確認された数

植物:103科 566種

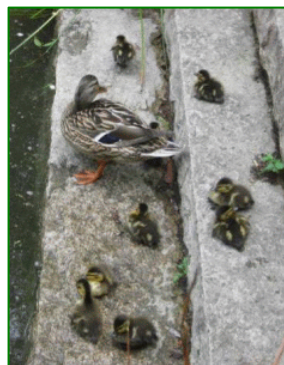
菌類:301種

鳥類:60種(30種程度/年で安定)

昆虫:越冬昆虫は29種



カワセミ (鳥の宝石とも呼ばれます)



マガモ
(繁殖している様子)



ゴマダラチョウとクワガタムシ
(奇跡のツーショット!)



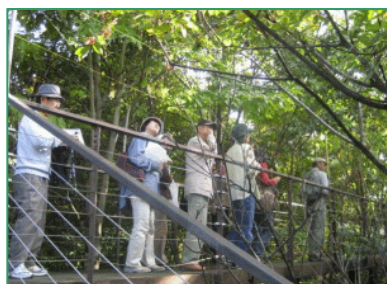
ウンモンスズメ
(ケヤキを食草としている)



ニガクリタケ
(猛毒をもつキノコ! 毒キノコを学ぶ良い教材となっています)

自然観察会に参加しよう!

いのちの森の重要な役割のひとつに「市民の環境学習の場」の提供があります。**毎月第3土曜日(年間15回)**に自然観察会を開催(いのちの森モニタリンググループが協力)しています。



市民の環境学習の場として開放



夏休み親子自然観察会
(楽しみながらアメリカザリガニを駆除)

生物多様性国際自治体会議にて、市長が「いのちの森」の取組を発表

平成22年10月に名古屋で開催された上記会議にて、都市部における自然再生の成功事例として、市長がいのちの森の取組を発表しました。



場所: 京都駅中央口より塩小路通を西へ徒歩約15分

梅小路公園 検索

区の実践の紹介

きょう

京からみんなで環境にええことしましょ！

北区 レジ袋削減を北区から！

市内で最もレジ袋削減が進んでいるモデル地区として取組を展開しています。PTAや地域女性会、保健協議会など、地域団体の皆さんとの協働による学区単位でのレジ袋学習会を開催し、レジ袋をはじめとする容器包装ごみ削減の必要性やその方法を学びました。



PTA 向けごみ削減学習会の様子

左京区 小学生のエコへの取組

錦林小学校の4年生がゴーヤを校舎の壁にはわせて育て、「緑のカーテン」を作りました。3年目になる今年は、学校の前庭や中庭にも緑のカーテンを作りました。また、地球環境に対する理解を深めるために、「子ども版環境家計簿」にも取り組みました。



東山区 東山区ふれあい広場

「環境にやさしく」を合言葉に、マイ箸、マイバック持参を呼びかけ、会場ではリユース食器を使用することで、ごみ減量に取り組みました。また、使用済めんぷら油や蛍光灯、不要になった携帯電話などの小型家電を回収するコーナーを設け、循環型社会について体験しました。



上京区 「みんなで花を咲かそう」ボランティア活動

区役所玄関前に季節の草花がきれいに植えられ、毎朝、水やりなどの手入れを行い、庁舎前が彩り豊かに保たれました。

通行人や来庁される方たちに、まちの環境美化についての意識を高めてもらおうと活動が続けられています。



秋の植替作業を終えた区民ボランティアの皆さん

中京区 緑のカーテンづくり

涼しくてエコな暮らしにつながる工夫について区民の皆さまに考えていただくきっかけになればよいと、総合庁舎で区民ボランティア「中京・花とみどりの会」と区役所職員が合同で、ゴーヤによるグリーンカーテンづくりに取り組みました。



山科区 2万人まち美化作戦

ごみのない美しいまちを目指し、各学区自治連合会が中心になり、学区内の道路・河川などの一斉清掃や門掃き、電柱・電話ボックスの違反広告物の撤去などを実施しました。



下京区 「地球環境にやさしい暮らし方」をしよう

美しいまちを次の世代に引き継ぐために、平成 21 年度に「下京区環境宣言」を策定し、今こそ一人ひとりが「地球環境にやさしい暮らし方」をしようと呼び掛けています。環境月間の取組として、京都駅、東本願寺、西本願寺周辺道路の歩道などエコ・クリーン作戦を展開しました。



西京区 西京塾

区基本計画の重点プロジェクトの一つとして、自発的なまちづくり活動を担う人材の育成等を目的に、平成 16 年度から公募による区民で構成される「西京塾」の取組を推進しています。

環境・自然班と地域コミュニケーション班（公園探研隊）の 2 つのグループが、区内各地で「ごみ分別出前講座」や「公園自然観察会」などを開催しました。



南区 「打ち水」作戦

8 月の「DO YOU KYOTO? デー」の取組として、ヒートアイランド現象の緩和等の意識を高めるため約 40 名が南区役所前で「打ち水」作戦を実施しました。その結果、実施前より気温が 2 度下がり、打ち水の効果を実感しました。



右京区 京北自然体験ツアー

豊かな森林と清流などの自然環境に恵まれた京北地域において、平成 22 年度は 4 回目となり、森林の手入れに欠かせない間伐の作業体験や、木質ペレットの工場見学、樹齢千年とも言われる伏条台杉の森「片波川源流域」の見学等を行いました。



伏条台杉の森の見学の様子

伏見区 伏美 eco 市

「環境先進区」を目指して、身近な生活環境から地球環境に至るまで、環境問題に対する意識の向上を図るため、ふしみエコいち「伏美 eco 市」を実施しました。

区民ボランティアを中心とした地域の活動である「きらり伏見区まちづくりプロジェクト」の創意工夫により、楽しみながらエコを体感できる環境啓発ブースの設置や、納所地域ごみ減量推進会議の協力によるフリーマーケットを開催しました。



フリーマーケットの様子

恒例イベントの紹介 ～環境に関するイベントにもっと参加してみませんか～

イベント名	開催時期	内容	担当課
環境月間	6 月	様々なイベントへの参加により環境問題の重要性を理解し、ライフスタイルを見直してみませんか。	環境政策局 環境管理課
ごみ減量エコバスツアー	通年	ごみ処理の方法、ごみ減量の大切さについて学びませんか。	環境政策局 循環企画課
パークアンドライド	5,11 月頃	交通渋滞の発生が予想される観光シーズンは、公共交通の利用が便利です。	都市計画局 歩くまち京都推進室
DO YOU KYOTO? デー	毎月 16 日	環境にいいことをする日として定め、屋外照明などの消灯、ノーマイカーデーなどを実践する日です。	環境政策局 地球温暖化対策室

★これらのイベントは一例ですので、詳しくは市民しんぶんなどで随時、お知らせします。

長期的目標の進捗状況

長期的目標1 国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都

Plan (計画・目標)

京都議定書誕生の地である京都において、私たちの日常生活や通常の事業活動から生じる環境への負荷が、地球規模の環境問題に多大な影響を与えていることを理解し、環境負荷を低減するための取組を推進します。

環境負荷を低減するために、エネルギーの省力化、新エネルギーの導入などを促進し、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を抑制することにより、脱温暖化型の地域社会を目指します。

国際機関との連携により、地球温暖化対策をはじめとした環境保全全般に係る取組を推進します。

基本施策

1-1 地球温暖化対策の推進

1-2 オゾン層保護対策の推進

1-3 酸性雨対策の推進

1-4 国際的取組の推進

【地球温暖化対策の推進の目標値】

「京都市地球温暖化対策条例」に規定する「平成22年までに温室効果ガスの排出量を基準年である平成2年の90%に削減する」ことを目標値とします。

基準年：平成2(1990)年

温室効果ガス排出量：772万トン

目標年：平成22(2010)年

温室効果ガス排出量の目標量：695万トン

(基準年比10%削減)

Do (実施)

「DO YOU KYOTO?」って何？

「環境にいいことしていますか？」という意味の合言葉です。

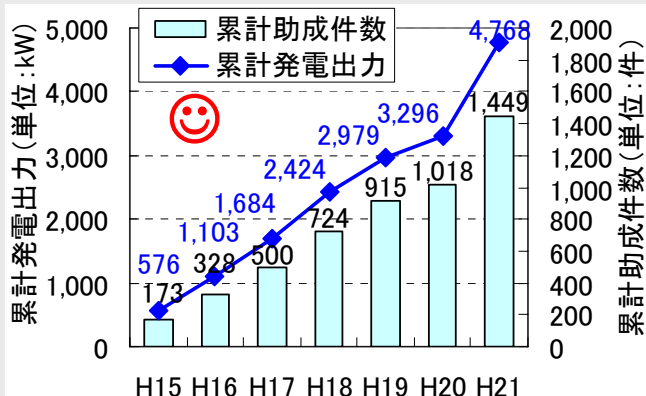
「京都議定書」誕生のまちに生きる誇りを共有し、一人ひとりがエコ活動を実践し、環境にやさしい取組の輪を広げて行きましょう。



太陽光発電の普及促進

民生・家庭部門からの温室効果ガスの排出を抑制するため、住宅用太陽光発電システム設置に助成しています。

平成21年度までの累計発電出力4,768Kwは約900世帯が1年間使用する電力量に相当します。



イクレイ(ICLEI)を通じた国際的取組

イクレイ(持続可能な開発に積極的に取り組む自治体及び自治体連合)に加盟し、市長が世界理事を務めています。

コペンハーゲンで開催された「イクレイ気候ラウンジ」で、これまでの取組や成果、自治体としての将来像を、「京都からコペンハーゲン、その先へ」と題して発信しました。

木質ペレットの普及促進

木質ペレットとは、化石燃料ではなく、間伐材などの木質資源を粉砕し、圧縮・成型した固形燃料です。右京区京北に、京都府唯一の大規模木質ペレット製造工場が完成しました。

木質ペレットの普及は、地域の健全な森林整備につながるとともに、「低炭素社会」の実現を目指す大きな一歩です。ペレットボイラーやストーブの導入助成を行っています。

木質ペレット



ペレットストーブ

主な環境指標の推移

Check (点検)

- ・温室効果ガス排出量(主に二酸化炭素排出量)は減少していますが、部門別にみると、民生・家庭部門及び民生・業務部門は大きく増加しています。
- ・新エネルギー導入量(公共施設における太陽光発電システム導入量)は大きく増加しています。

環境指標		単位	指標区分※1	基準値(H2)	実績値(H20)	目標値(H22)	進捗度及び対基準値比	
温室効果ガス排出量		万トン	↓	772	693	695	◎	10.2%
二酸化炭素排出量		万トン	↓	725	661	660	◎	8.9%
部門別二酸化炭素排出量	産業部門	万トン	↓	195	108	118	◎	44.5%
	運輸部門	万トン		197	165	197	◎	16.1%
	民生・家庭部門	万トン		155	189	155	△	-21.8%
	民生・業務部門	万トン		152	176	156	△	-16.2%
	廃棄物部門	万トン		25.8	21.8	33.7	◎	15.5%
新エネルギー導入量(公共施設における太陽光発電システム導入量)		kW	↑	446.4(H16)	1,002.3(H21)	—	—	124.6%
公共交通機関利用者数		百万人	↑	515.6(H16)	532.1	—	—	3.2%
海外からの環境施設視察者数		人	↑	231(H16)	628(H21)	—	—	171.9%

※1.環境指標の表中に示す「指標区分」は、環境指標の方向性(ただし、長期的目標2に掲げる市保全基準達成率については達成状況を踏まえ区分しています)に基づき以下のように区分しています(以下の表同じ)。

「↑」:増加する(高くなる)ことが良い指標 「↓」:減少することが良い指標 「→」:維持することが良い指標

Action (改善・見直し・更なる前進)

京都市地球温暖化対策条例が改正されました

改正条例の目標

2030(平成42)年度までに1990(平成2)年度比**40%削減**

2020(平成32)年度までに1990(平成2)年度比**25%削減**

改正条例の特徴

- 1 低炭素社会の実現に向けた新たな取組を規定
- 2 京都府地球温暖化対策条例との連携・整合

【市が講じる施策】

カーシェアリングの普及促進, 地域産木材の利用促進, 食の地産地消の促進, 環境産業の育成・振興, 地球温暖化対策を推進する人材の育成 など



京都市環境審議会からの答申

「DO YOU KYOTO?」バスの運行

「DO YOU KYOTO? ～環境にいいことしてますか?～」を合言葉とする環境にやさしい取組を市民や観光客の皆様に普及啓発するため、「DO YOU KYOTO?」のデザインでラッピングしたバスを運行しています。



平成の京町家 ～新たな時代の京都のモデル住宅～

伝統的な京町家の知恵と最新の環境技術を融合した「平成の京町家」のモデル住宅を開発・建設しました。

- ・光を取り入れ、風通しを良くする坪庭など京町家の知恵
- ・太陽熱・地中冷熱, 高効率照明等の環境技術を生かした低炭素化
- ・市域産木材の活用による低炭素化



大気、水、土壌・地盤などを良好な状態に保持・保全するとともに、自動車交通公害や生活排水による水質汚濁などの都市生活型公害、更には化学物質等による新たな環境問題への適切な対応など、環境汚染の未然防止と拡大抑制に努め、市民が安心して暮らすことのできる公害のない健康で安全な環境を確保します。

基本
施策

2-1 大気環境の保全

2-2 水環境の保全

2-3 土壌・地盤環境の保全

2-4 生活環境の保全

2-5 化学物質対策の推進

京都市環境保全基準とは

市民の健康で快適な生活・自然環境を確保するために、大気汚染、水質汚濁、地下水汚染、騒音、土壌汚染、悪臭、地盤沈下、緑及びダイオキシン類の9項目について設定しています。このうち、悪臭、地盤沈下及び緑の3項目は国の環境基準で定められていない本市特有のものであり、また、大気汚染の二酸化窒素等は国よりも厳しい基準を設けています。

Do (実施)



一般環境大気測定局

二酸化硫黄、二酸化窒素等について、市内 16 局において年間を通じて自動で測定を実施(写真は市役所局)



ダイオキシン類大気測定状況
大気、河川水質、地下水、土壌等のダイオキシン類について、市内各地において測定を実施



騒音の測定状況
自動車騒音、新幹線騒音、一般環境騒音等について、市内各地において測定を実施

エコドライブの推進

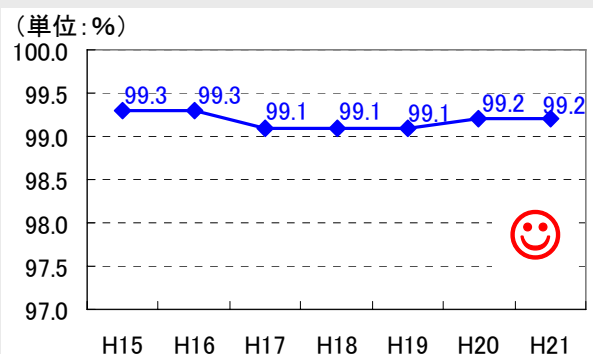
エコドライブを実践すると、同じ車で同じ距離を走行しても、1～2割の燃費が改善できます！

市民を対象に「京エコドライバーズ宣言登録者」の拡大、事業者を対象に「エコドライブ推進事業所」の登録を呼びかけました。



公共下水道の整備

西京区及び左京区で整備が進み、市全域の下水道普及率が徐々に向上しています。



主な環境指標の推移

Check (点検)

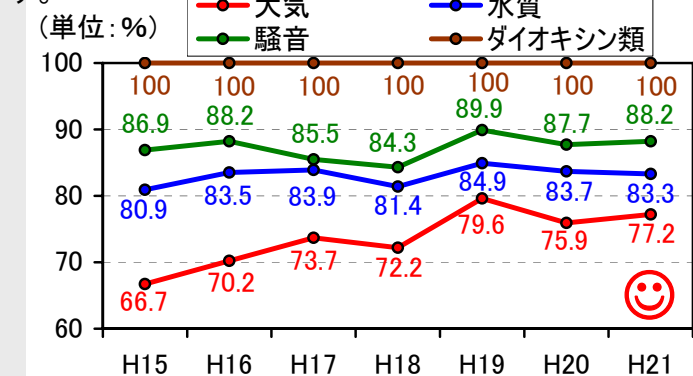
・市保全基準達成率については、二酸化窒素及び光化学オキシダントで未達成の地点が見られますが、概ね良好な状態にあります。

環境指標			単位	指標 区分	基準値 (H16)	実績値 (H21)	目標値 (H22)	進ちょく度及び 対基準値比	
大気汚染 に係る市 保全基準 達成率	二酸化硫黄	一般局※	%	→	100.0	100.0	100.0	◎	0.0%
		自排局※	%		100.0	100.0	100.0	◎	0.0%
	二酸化窒素	一般局	%	↗	0.0	0.0	100.0	×	—
		自排局	%		0.0	0.0	100.0	×	—
	二酸化窒素 (当分の間)	一般局	%	↗	70.0	100.0	100.0	◎	42.9%
		自排局	%		33.3	50.0	100.0	△	50.0%
	一酸化炭素（自排局）		%	→	100.0	100.0	100.0	◎	0.0%
	浮遊粒子状物質	一般局	%	→	100.0	100.0	100.0	◎	0.0%
		自排局	%		100.0	100.0	100.0	◎	0.0%
	光化学オキシダント（一般局）		%	↗	0.0	0.0	100.0	×	—
降下ばいじん（一般局）		%	→	100.0	100.0	100.0	◎	0.0%	
水質汚濁に係る市保全基準達成率(BOD)			%	↗	97.1	97.3	100.0	◎	0.2%
生活排水処理率(公共下水道, 合併浄化槽等)			%	↗	99.6	99.7	100	◎	0.1%
透水性舗装延長			km	↗	10.1	12.2	10.0	◎	21.3%
一般騒音に係る市保全基準達成率			%	↗	61.1	68.8	100.0	○	12.6%
自動車騒音に係る市保全基準達成率			%	↗	88.2	88.2	100.0	◎	-0.1%

※「一般局」とは一般環境大気測定局を、「自排局」とは自動車排出ガス測定局を略したものです。

市保全基準達成状況の推移

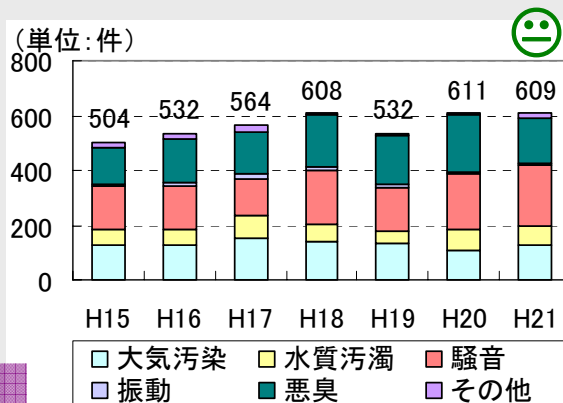
長期的には各分野とも概ね良化傾向で推移しています。



※各分野の測定物質全項目中の達成項目比率を表しています。

公害苦情件数の推移

都市型生活特有の近隣騒音(カラオケ等)や悪臭が多くなっています。



Action (改善・見直し・更なる前進)

二酸化窒素の市保全基準達成に向けて

自動車排ガスが主な原因の一つである二酸化窒素濃度を改善するためには、
①なるべく車を利用しない
②低公害車を選ぶ
③エコドライブに努める
ことが大切です。

歩くまち京都の実現

歩く

公共交通を利用

自転車を利用

エコドライブ大行動の実施

大規模商業施設や、エコドライブに積極的に取り組まれている「エコドライブ推進事業所」と協働し、エコドライブの啓発キャンペーンを実施しました。

11月はエコドライブ推進月間です



京都の歴史的風土である三方の山々や清らかな川の流れなど、市内の優れた自然環境を保全するとともに、市内に生息・生育する多様な野生動植物との共生を図ります。

また、世界遺産や文化財、史跡等の歴史的文化的環境、伝統的な京町家や町並みに代表される京都固有の趣のある市街地景観を保全するとともに、身近な緑や水辺環境の保全・創造に努め、うろおいと安らぎのある快適環境を確保します。

基本
施策

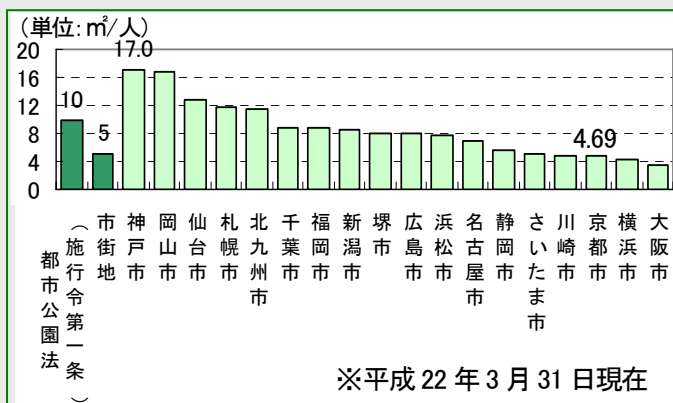
3-1 自然環境の保全

3-2 快適環境の確保

緑は多様な機能をもっていることから、今ある緑を保全し、公園等を整備し、また市民等との協働によって民有地の緑化を推進することが必要です。

政令指定都市市民一人当たり公園面積

公園用地の確保は困難であることから、市民1人当たりの公園面積は4.69㎡であり、目標達成に向けて更なる取組が必要です。

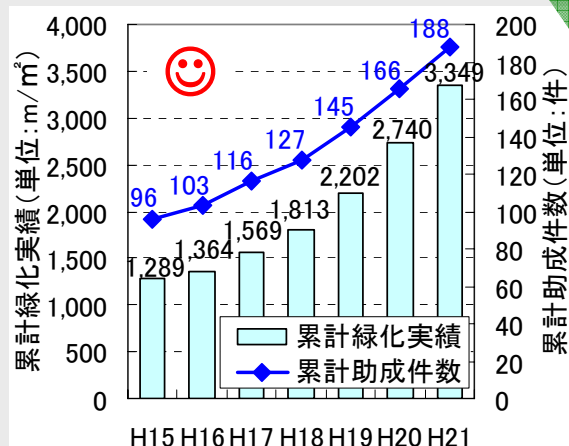


Do (実施)

京のまちなか緑化助成事業

市街地での緑化推進のため、建築物の屋上、壁面の緑化、また、生垣等の整備に対して助成しています。

平成11年度から生け垣緑化を対象に始めた緑化助成制度は、屋上及び壁面緑化、駐車場緑化等も助成対象とし充実させたことにより、緑化助成実績は大きく増加しています。



市民との協働による身近な公園の整備

ワークショップ手法を用いて、住民の皆様意見を踏まえながら、以下の公園を新しく整備しました。

- ・原谷中央公園(北区)
- ・幡枝御反田公園(左京区)
- ・幡枝庄田公園(左京区)
- ・下三栖城ノ前公園(伏見区)



堀川に清流が復活しました！

堀川に清流を蘇らせようという市民の願いに応えるため、平成9年度から取り組んできた堀川水辺環境整備事業が平成21年度に完了し、堀川に清流が復活しました。



夏の新しい風物詩となった「京の七夕」の会場としてにぎわいづくりに活用されています。

主な環境指標の推移

Check (点検)

- ・森林面積は平成 17 年 4 月、旧京北町との合併により約 1.5 倍に増加しましたが、森林保育・造林面積は、平成 17 年度以降減少しています。
- ・人口 1 人当たり公園等面積は年々微増しています。

環境指標	単位	指標区分	基準値 (H17)	実績値 (H21)	目標値 (H37)	進捗度及び対基準値比
森林面積	ha	→	40,744(H16)	61,022(H20)	—	— 49.8%
森林保育・造林面積	ha	↗	928(H16)	759(H20)	—	— -18.2%
耕地面積	ha	↗	2,805(H16)	3,244	—	— 15.6%
自然体験学習の場利用者数	人	↗	148,006(H16)	152,991	—	— 3.4%
人口 1 人当たり公園等面積	m ² /人	↗	4.56	4.69	10	× 2.6%
保存樹・保存樹林数	件	→	40	39	—	— -2.5%

Action (改善・見直し・更なる前進)

みんなで探そう 京都のいきもの

市民の皆様へ、人と自然、地域と自然のつながりを再認識していただき、豊かな自然を次世代に引き継いでいく行動を起こすきっかけとなる取組として、「～京のいきもの発見！！～『みんなで探そう 京都のいきもの』」を実施しました。市内の公園や道路沿いの樹木、里山などで、身近な生き物が発見されています。



地域産木材利用の推進

京都市域産材の需要を喚起するため、京都市認証マーク「みやこ杉木」を明示して、利用を推奨しています。また、京の山杉人工房や京都市北山杉の里総合センターにて地域産木材の普及に努めています。



そまぎ
みやこ杉木
京都市認証マーク



そまひと
京の山杉人工房
(まちの中の森の窓口)

農林行政基本方針を策定しました

今後 10 年間の京都市の農林業が進むべき方向を示す内容となっています。この基本方針に基づき、農業及び林業における各種施策を推進し、「人と生命と環境を育む京の農林業」の実現を目指します。

京都伝統文化の森推進協議会の活動

平成 19 年度に設立され、東山の国有林(「東山風景林」)約 190ha を対象に、市民参画による森林整備を進めています。森づくりを通じて、自然との共生を基本とする日本文化の再生を全国に発信しています。



ナラ枯れ被害木の搬出作業
(平成 22 年 12 月 18 日 ナラ枯れ木搬出薪割り大作戦)

ナラ枯れの被害が京都盆地に拡がりつつあります

三山では、コナラやシイが突然赤く枯れるナラ枯れが広がっています。

景観上の重要箇所や宅地近くの枯れ木を重点的に伐採し、景観の保全と市民生活の安全確保に努めています。



ナラ枯れの状況 (H22 年 9 月 9 日撮影)

長期的目標4 ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都

Plan (計画・目標)

京都の精神文化である、「始末」という考え方や、「もったいない」という心を大切にし、今日の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式を見直し、ごみの発生抑制や資源の循環的利用、廃棄物の適正処理等を推進することにより、限りある資源を将来の世代に残せるよう有効に利用し、環境への負荷が少なく持続的に発展することが可能なまちを目指します。

基本 施策

4-1 一般廃棄物対策の推進

4-2 産業廃棄物対策の推進



行政の取組だけではごみは減りませんので、ご協力をお願いします♪

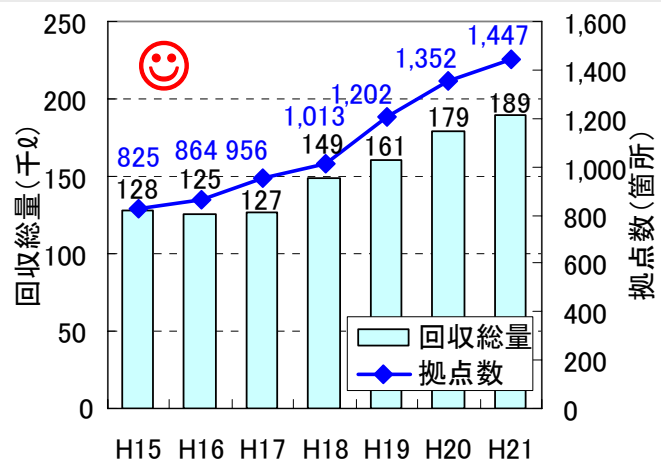


Do (実施)

使用済てんぷら油の回収 **集めていただいた油は大切に使用しています♪**

めぐるくん

本市では、平成9年8月から家庭で使用されたてんぷら油を回収し、廃食用油燃料化施設において、バイオディーゼル燃料を精製し、ごみ収集車や一部の市バスの「環境にやさしい燃料」として使用しています。平成19年度には助成金制度を創設し、平成21年度末現在、1,447拠点で取り組まれており、約18万9千リットルのてんぷら油を回収しました。



新しいごみの計画『ごみ半減プラン』を策定

「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プランー京都市循環型社会推進基本計画(2009ー2020)」を平成22年3月に策定しました。

「京(きょう)からみんなで環境にええことしましょ！」を合言葉に、「平成32年度の市が受入れるごみ量を平成12年度のピーク時に比べて半分以上の39万トンを目指します。」などの高い目標を掲げ、「世界をリードする環境モデル都市・京都」の実現を目指します。



目標を達成するには、家庭から出るごみを1人1日当たり140グラム減量しなきゃならないんだ、ご協力をお願いします。

小型家電リサイクルの取組

レアメタル(希少金属)は、IT関連製品などの原料として欠かせない資源であり、国内の需要増加とその産出国が偏在しているため、安定的な確保が極めて重要です。

平成21年11月から、国などと連携し、関西初の取組として、「不要になった小型家電」を回収し、レアメタルを回収する等、リサイクルするモデル事業を実施しました。

たくさんの携帯電話や電卓、CDプレイヤーだね

(写真:回収された小型家電)



主な環境指標の推移

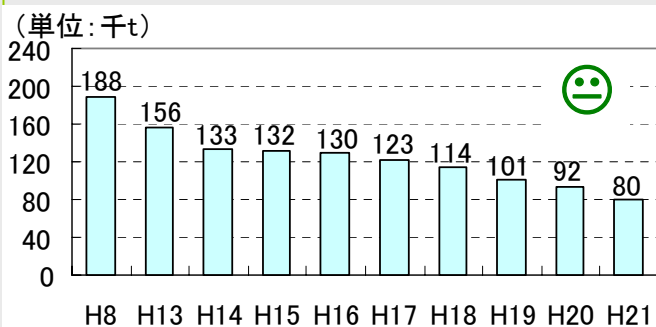
Check (点検)

・一般廃棄物総排出量は、平成 18 年 10 月の家庭ごみ有料指定袋制の導入等により、年々減少しており、平成 22 年度及び平成 27 年度の目標値をすでに達成しています。

環境指標	単位	指標区分	基準値 (H13)	実績値 (H21)	目標値 (H22)	進捗度及び対基準値比
一般廃棄物総排出量	t	↓	858,257	717,558	810,700	◎ 16.4%
一般廃棄物再生利用率	%	↑	11.1	20.3	24.6	△ 83.7%
一般廃棄物最終処分量	t	↓	155,644	80,234	51,600	△ 48.5%
産業廃棄物発生量	千 t	↓	2,896	2,718(H20)	2,744	◎ 6.1%
産業廃棄物再生利用率	%	↑	28.5	43.7(H20)	32.0	◎ 53.3%
産業廃棄物埋立処分量	千 t	↓	138.0	116.4(H20)	68.0	× 15.9%

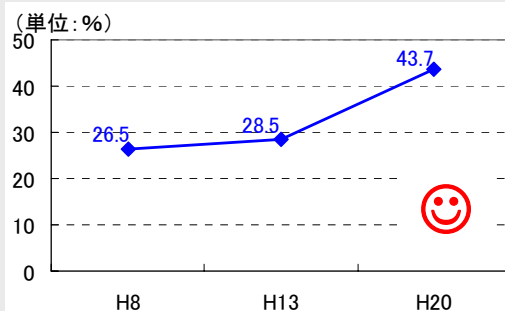
一般廃棄物最終処分量の推移

一般廃棄物総排出量の減少、リサイクルの取組に伴い、一般廃棄物最終処分量も減少し、ピーク（平成8年度）の 188 千トンの約 40%にまで減少



産業廃棄物の再生利用率の推移

前回調査の平成 13 年度から大きく増加しました。これは、再生利用された産業廃棄物量全体の 93%を占める建設業及び製造業の再生利用率が大きく上昇しているためです。



Action (改善・見直し・更なる前進)

みんなで減らそう！ ごみ半減！



新しい「ごみ減量・分別ハンドブック」を全戸に配布します。

【新しく工夫された内容の紹介】

- ・ごみに関する最新の現況報告
- ・ごみ減量のために家庭で取り組めること
- ・分別収集、3Rの大切さ など

事業者の皆さんへ ごみの分別パンフレットを発行しました

「事業ごみの減量対策」を重点戦略として位置付けています。市内の中小企業者を対象に、廃棄物排出のルールや分別・再資源化の可能な品目を掲載したパンフレットを発行しました。



生ごみ・落ち葉等堆肥化活動助成

平成 22 年度から生ごみや落ち葉を堆肥化する市民団体の取組を支援する助成制度を創設しました。



新林小学校の生ごみ・落ち葉等堆肥化活動

民間業者が収集するごみは必ず**透明袋**で！

資源ごみの分別・資源化と、ごみの適正排出を推進するため、民間業者（一般廃棄物許可業者）が収集するごみは、透明袋で出していただくこととしました。

無色透明袋



白色透明袋



黒袋・青袋はダメ

Plan (計画・目標)

今日の環境問題の多くは、日常生活や通常の事業活動に伴って生じる環境への負荷が原因の一つとなっていることを認識し、そのあらゆる場面に環境配慮の考え方を織り込むとともに、地域社会を構成する市民、事業者、行政などのすべての主体が、それぞれの責務や役割のもと、知恵を出し合い工夫しながら連携し、自主的・積極的な行動で環境を支えるまちづくりを推進します。

基本施策

5-1 環境教育・学習の推進

5-2 環境保全活動の促進

5-3 広範な主体の参加と環境コミュニケーションの推進

5-4 環境関連産業の育成と技術開発の推進

環境配慮行動チェックシート

本冊子に添付した「環境配慮行動チェックシート」は、普段の生活の中で行うことができる環境に配慮した行動事例をまとめたものです。

Do (実施)

こどもエコライフチャレンジ(小学校高学年対象)

未来を担う子どもたちが、地球環境について学び、夏(冬)休み期間中に家族と相談しながら「子ども版環境家計簿」をつけることで、自分でできることに気づき、「エコライフ」の定着を目指すものです。夏(冬)休みの前後に学習会を行っています。



ごみ減量エコバスツアー

平成 21 年度から、市民のさらなるごみ減量や分別・リサイクル意識の高揚を図るため、クリーンセンターや資源リサイクルセンターなど、ごみ処理・再資源化施設の見学会を開催しています。

	計	一般公募型	オーダーメイド型
実施回数	53 回	11 回	42 回
参加人数	1,109 人	182 人	927 人

一般公募型：各まち美化事務所単位で実施(対象は当該区在住の小学生以上の方)

オーダーメイド型：地域団体・グループ単位で実施(対象はごみ減量に取り組んでいる地域団体や住民グループ)

環境月間(6月)の取組

市内で様々な取組を実施しています。

- ・世界の京都・まちの美化市民総行動
- ・一斉清掃&交流大会
- ・街の探検隊「ホテル観賞会」
- ・環境月間記念植樹
- ・浄水場等施設見学

★詳しくは市民しんぶんなどで随時、お知らせします。

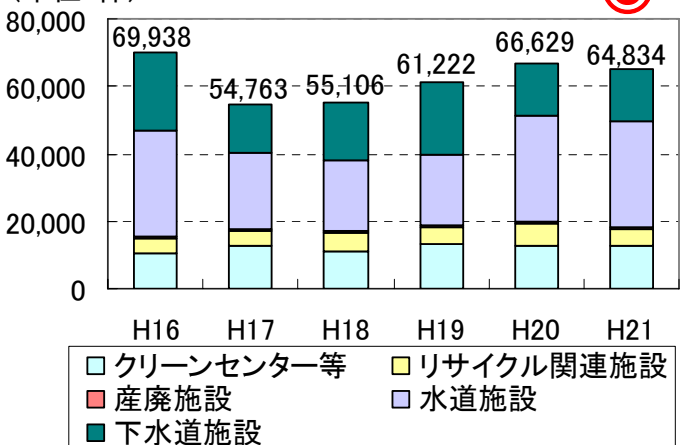


区内一斉清掃の様子(西京区)

環境関連施設の見学者数の推移

年間6万人以上の市民が見学に訪れています。

(単位：件)



主な環境指標の推移

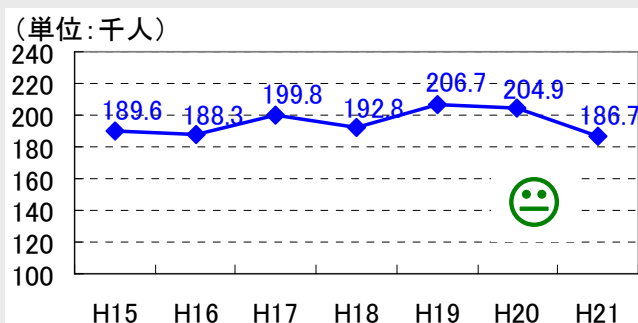
Check (点検)

・環境保全活動プログラム参加者数は、前年度から約2万人減少していますが、環境関連施設利用者数は、平成18年度以降増加しています。

環境指標	単位	指標区分	基準値(H16)	実績値(H21)	進捗度及び対基準値比
環境保全活動プログラム参加者数	人	↗	188,326	186,724	-0.9%
人材育成数	人	↗	96	102	6.3%
環境関連施設利用者数	人	↗	75,815(H17)	80,068	5.6%
こどもエコクラブ参加団体・参加者数	参加団体数	↗	18	12	-33.3%
	参加者数	↗	779	1,153	48.0%
KES 認証取得(保有)件数	団体	↗	389	1,335	310.0%
民間団体数	団体	↗	63	80(H20)	27.0%

環境保全プログラム参加者数の推移

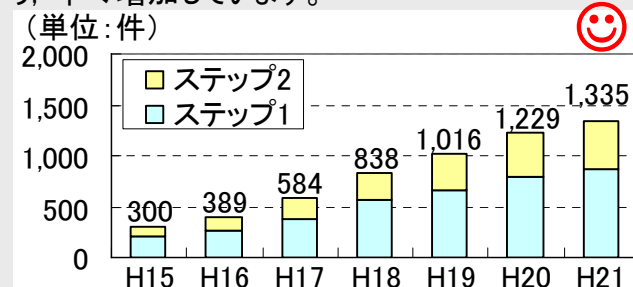
環境学習への参加者数は、186,724 人、前年度から約2万人減少しました。



京エコロジーセンター、青少年科学センター、青少年活動センター等が実施する環境学習・生涯学習に参加した人数を集計しています。

KES件数の推移

KES の認証取得(保有)件数は 1,335 団体であり、年々増加しています。



KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード) は、企業などの経営に当たって、省エネ・省資源、ごみ減量、温室効果ガスの削減など、環境への負荷を低減するための仕組みです。

Action (改善・見直し・更なる前進)

京都市エコイベント実施要綱を策定しました(平成22年10月策定)

多くの人が集まるイベントの開催は、ごみの大量発生や、エネルギー・資源の大量消費など、環境に大きな負荷を与えます。

イベント開催時はリユース食器を利用したり、公共交通機関の利用を呼びかける等のイベントのエコ化の取組は、ごみの減量やイベントに関わる全ての人のエコ意識の向上につながります。



エコイベントの表彰やコンテストを実施するよ!



「西京区民ふれあいまつり」の様子

「世界一美しいまち・京都」を目指して

市民や事業者の皆様との協働による『世界一美しいまち・京都』の実現に向け、まちの美化活動の参加者は年々増加・拡大し、年間約20万人に活動していただいています。11月の「京都市美しいまちづくり推進月間」にあわせ、「京都・まち美化大作戦」を実施しました。



京都・まち美化大作戦の様子

みやこ 京のアジェンダ21フォーラム

持続可能な社会を実現するため設置された、市民・事業者・行政のパートナーシップ組織です。家庭の省エネ相談所、「バスと電車で eco グルメ!」などの事業を展開しました。



”環境にやさしいライフスタイル”を体験してみませんか♪ ～環境関連施設の紹介～

そうだ！ ^{みやこ}京エコロジーセンターに行ってみよう♪

京エコロジーセンター(略称:エコセン)は 1997 年 12 月に開催された地球温暖化防止京都会議(COP3)を記念して 2002 年設立されました。環境学習と環境保全活動の拠点として市民が地球温暖化防止に取り組む場として活用されています。

《見て、触れて、感じる「体験型展示」》

1階、2階の展示コーナーでは、地球規模での環境問題から、日常生活に関わるゴミ減量や電気使用削減の知恵まで、体験しながら学べる展示があります。

《建物全体がエコ展示》

太陽光発電、雨水利用、地熱利用をはじめ省エネルギー、省資源型の施設をたくさん導入しています。また、屋上緑化(ビオトープや畑)もお楽しみいただけます。



自分の力で電気を作ってみよう！

1階の体験コーナーでは「人力発電マシン」がおまちな。頑張って自転車を漕ぐと電気がおこり、映像が流れ出て、京都のエコマップの「ある場所」まで行くことができるよ。どこに行くのかはエコセンで漕いでみてのお楽しみ♪

毎日使っている電気について考えてみませんか？



手押しポンプをおしてみると…？

1階の手押しポンプを押してみると、上から雨が降ってくる！降った雨は屋根から雨どいを伝って、ご家庭でも設置できる雨水タンクに貯められます。エコセンでは、雨水を地下水槽に貯め、トイレの洗浄水に利用しています。毎日使っている水道水について、考えてみませんか？



環境ボランティア「エコメイト」の紹介

エコセンに来て、まず皆さんをお出迎えするのは環境ボランティア「エコメイト」です。来館者と環境問題を一緒に考えるエコメイトが活躍しています。環境のスペシャリストではなく、市民の目線で来館者とのコミュニケーションをとっています。館内の展示の案内はもちろん、小学生の環境プログラム実施のサポートや環境イベントの企画・実施を行っています。

学生・社会人・主婦・退職された方など様々な方が活躍しています。毎年8月に募集しますので、興味のある方は是非お問合せください。



場所:伏見区深草池ノ内町 13
青少年科学センターすぐ隣!!

TEL:075-641-0911

休刊日:毎週木曜日

(木曜日が祝日の場合、翌日休館)

※駐車場はありません。

京エコセン 検索





ご存知ですか 市の取組



「EVバス」の実用化を目指して、実証実験を行いました

低炭素社会を目指し、「歩くまち・京都」の実現と電気自動車（EV）など次世代自動車への転換を進めるため、平成 23 年2月に EV バス運行に関する実証実験を行いました。

市役所前広場に急速充電設備を設置し、三菱重工業株式会社が製作した EV バス 1 台を交通局が運行し、市民の皆様モニターとしてご利用いただき、走行可能時間、充電の必要間隔、乗客の乗心地など、EV バスの走行性能や機能性を調査しました。



実験の結果を踏まえて、EV バスの実用化を目指して取組を進めます。

EVカーシェアリングを体験ください

低炭素社会と公害のない社会の実現を目指して、次世代自動車の普及促進事業に取り組んでいます。その一環として、電気自動車のカーシェアリングを行います。

平成 22 年度は、より多くの皆様に御利用いただけるよう貸出台数を増やし、平日の貸出を新たに始めるほか、貸出場所も複数設けました。また、情報通信システムを活用し、より利用しやすい実践的なカーシェアリングを行いました。

【平成 22 年度実績】

貸出車両 三菱 i-MiEV 定員 4 名（運転者含む） 平日：3 台、土・日・祝日：5 台

貸出場所 京都市御池駐車場（ゼスト御池） 他 市内に3箇所

充電施設の紹介（京都市内に 55 箇所：平成 22 年9月末時点）
区役所、市体育館、大覚寺、上賀茂神社、宝が池公園運動施設など

詳しくは、市民しんぶんやホームページでご確認ください。 **京都市 EV 検索**
お問合せ：環境政策局 環境管理課 TEL:075-231-0930

「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦の推進 ～人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて～

一人ひとりが歩く暮らしを大切にすることによって、クルマを重視したまちと暮らしから、歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための取組として、全国で初めて、大規模なモビリティ・マネジメント（MM）^{プロジェクト}を体系的に実施する、「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦を推進しています。市民しんぶんを活用し、全市民を対象とした MM や、地域住民・大学等と連携した MM などを実施しています。

モビリティ・マネジメント（MM）とは？

多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ（交通行動）が、社会にとって望ましい方向へ自発的に変化するよう促す取組のことです。例えば、交通手段ごとの二酸化炭素排出量の比較などを盛り込んだ啓発冊子や公共交通利用促進マップ、交通行動に関するアンケートと回答などを活用して、コミュニケーションを図り、「かしこいクルマの使い方」を考えて実践していただけるよう促す取組があります。

「環境共生センター」を2箇所開設しました

市民や事業者のニーズに迅速に対応するため新しく開設しました。公害苦情相談、公害関係法令・浄化槽届出受理等の事務、事業ごみの減量指導、事業者へ地球温暖化対策に関する啓発を行っています。

利用日時 平日のみ：午前8時30分～午後5時15分

北・上京・左京・中京・右京区にお住まいの方は
北部環境共生センター

場所：上京区中立売通油小路東入甲斐守町100(旧上京まち美化事務所)

TEL:075-451-0211 FAX:075-451-0660

東山・山科・下京・南・西京・伏見区にお住まいの方は
南部環境共生センター

場所：南区西九条森本町50(生活環境美化センター敷地内)

TEL:075-671-0511 FAX:075-671-0322



水質汚濁拡散防止措置の様子

《事業者の皆様へ》

近隣住民等とのトラブルを未然に防止するため、大型室外機の設置、煙や臭いが発生する店や、カラオケ等の大きな音が発生する店の開業をお考えの際、事前にご相談ください！

地域における総合的な環境行政の拠点窓口「エコまちステーション」を区役所・支所内に開設

地域における自主的な清掃活動、使用済てんぷら油回収やコミュニティ回収等のごみ減量・リサイクル活動への支援、ごみの分別に関する相談、地球温暖化対策の普及啓発等の拠点となる窓口を区役所・支所内に開設しています。

こんな時は、「エコまちステーション」にご相談ください。

- ◆資源ごみの出し方、分別方法を知りたい。
- ◆資源物回収拠点(マップ)を知りたい。
- ◆蛍光管の処分はどうすればいいの？
- ◆粗大ごみ手数料券を購入したい。
- ◆自治会で一斉清掃をするので清掃道具を貸してほしい。 など

市民の皆様との共汗の輪を広げる取組をさらに推進します！



ごみの出し方について相談を受ける様子

土曜・日曜・祝日も「上京リサイクルステーション」をご利用ください

資源物回収拠点を進化させた『上京リサイクルステーション』をご利用下さい。9品目の資源物を平日に加え、**土曜・日曜・祝日**も持ち込めます。ごみの分別に関する相談にもお答えします。(平日のみ)



回収品目(9品目)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ◆てんぷら油(ラード、機械油は対象外) | ◆古着類(古着、古布、タオルなど) |
| ◆蛍光管(電球は対象外) | ◆小型家電類(携帯電話、デジタルカメラなど) |
| ◆一升びん、ビールびん | ◆記憶媒体類(CD、DVD、ビデオテープなど) |
| ◆紙パック | ◆刃物類(はさみ、包丁、カッターナイフなど) |
| ◆乾電池(充電池式電池、ボタン電池は対象外) | |

ここでは、他の資源物回収拠点に、以下の4つを加えた9品目を回収するよ★



利用日時 平日：午前9時～午後5時 **土・日・祝：午前9時～午後4時** ※ 年末年始は、閉館。

場 所：上京区中立売通油小路東入甲斐守町100 (旧上京まち美化事務所)

TEL:075-451-0222 《平日のみ》

市の助成制度の紹介

住宅用太陽光発電システム設置助成制度

環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 075-222-4555

地球温暖化対策に有用な「再生可能エネルギー」の核となる太陽光発電システムの住宅への設置費用の一部を助成しています。

【平成22年度の助成額】

対象	助成額
景観規制区域内	1kW あたり8万円(上限4kW)
その他の区域	1kW あたり5万円(上限4kW)



景観配慮型太陽光発電システムの設置例

電動式生ごみ処理機・生ごみコンポスト容器購入助成金制度

助成内容: 環境政策局 循環型社会推進部 まち美化推進課
TEL 075-213-4960

申込受付: 京都いつでもコール TEL 075-671-3755

市民の皆様にごみ減量・リサイクルの取組を支援するため、家庭ごみの有料指定袋制による財源を活用して、「電動式生ごみ処理機」及び「生ごみコンポスト容器」の購入費用の一部を助成しています。

【平成22年度の助成額及び助成台数】

種類	助成額	助成額の上限	助成台数
電動式生ごみ処理機	購入費用の2分の1 (100円未満切り捨て)	35,000円	450台
生ごみコンポスト容器	購入費用の2分の1 (100円未満切り捨て)	4,000円	50台



コミュニティ回収制度

各区役所、支所のエコまちステーション

町内会やご近所のグループなどによる自主的なごみ減量・リサイクルの取組を支援するため、古紙や缶・びんなどの資源物を地域で集団回収していただく集団回収『コミュニティ回収制度』を実施しています。お知らせビラやポスターの作成等に必要な費用の一部を助成金として下表のとおり交付します。

【平成22年度の助成額】

回収品目	
①古紙類	新聞を中心として、雑誌、段ボール、紙パック など
②古着類	古着、古布
③缶類	アルミ缶、スチール缶
④びん類	一升びん、ビールびんなどのリユースびん以外
⑤その他	ペットボトル、小型金属類 など

回収品目	助成額	回収品目	助成額
①のみ	平成22年度新規申請の場合 5～6月申請: 7,500円	①と②～⑤のうち 1品目以上	平成22年度新規申請の場合 5～6月申請: 11,500円
②～⑤のうち 2品目	7～9月申請: 5,000円 10～12月申請: 2,500円	②～⑤のうち 3品目以上	7～9月申請: 7,500円 10～12月申請: 4,000円

京のまちなか緑化事業

建設局 水と緑環境部 緑政課 TEL 075-222-3589

市街地での緑化推進のため、個人や事業者の方が建築物の屋上・壁面や駐車場等の道路に面する敷地において、新たに樹木の植栽などの緑化を行う際に助成しています。

【平成22年度の助成額】

	助成対象	助成額
屋上緑化	建築物の屋上において、樹木や地被植物等により5㎡以上緑化	10,000円/㎡又は費用の2分の1 助成金は30万円を限度
壁面緑化	建築物の壁面に沿って、つる性植物や壁面基盤により5㎡以上緑化	5,000円/㎡又は費用の2分の1 助成金は15万円を限度
地上緑化	・道路に面する敷地や駐車場において、樹木等により3㎡以上緑化 ・道路から樹木等が見え、かつ道路から6m以内の場所に植栽	5,000円/㎡又は費用の2分の1 助成金は15万円を限度

これらは一例です。募集期間、助成額など詳しくは、市民しんぶんなどで随時、お知らせします。

平成 21 年度版環境レポートへの市民意見について

主な意見と、それらの意見に対する施策・事業への反映等は以下のとおりです。

主な意見	本市の施策・事業への反映等
観光客マイカーの中心地への乗り入れ規制、路面電車等の運用検討、バスの夜間の運転など、公共交通機関の利用を促進して欲しい。	・観光地等交通対策として臨時交通規制 ・地下鉄運行ダイヤの見直し ・市バスロケーションシステムの構築
自転車専用道路の設置、自転車置場の新設など、自転車利用を促進して欲しい。	・御池通等で自転車専用道の試験的導入 ・まちかど駐輪場を順次拡大
ビルの屋上や今まで利用されていないような場所の緑化など、まちなかの緑を増やして欲しい。	・京のまちなか緑化助成事業、街路樹の整備 ・御池通等のスポンサー花壇の取組
レジ袋を渡さない、渡す前に必要かどうか確認するような販売店を増やす取組を進めて欲しい。	・「『レジ袋いりまへん』で、もっと減らそう！キャンペーン」の実施やごみ減量に関する学習会の実施
ごみ分別のパンフレットの工夫など、ごみ分別の意識を高められるよう工夫して欲しい。	・新ごみ分別辞典を全戸に配布 ・事業者を対象とした「分別啓発パンフレット」の発行
各コミュニティに環境保全委員を置き、地元で活動しやすくするシステムを構築して欲しい。	・各区役所等にエコまちステーションを開設 (ゴミの分別相談、地球温暖化防止の普及啓発)

お問い合わせ先

地球温暖化対策に関すること	京都市 地球温暖化	検索
公共交通利用促進に関すること	歩くまち京都	検索
大気汚染、騒音・悪臭など公害に関すること	京都市 環境指導	検索
低公害車やエコドライブの普及に関すること	京都市 エコドライブ	検索
身近な生き物の発見・報告について	京いきもの	検索
地域産木材、木質ペレットに関すること	京都市 林業の振興	検索
緑の保全、まちなか緑化に関すること	京都市 緑政課	検索
ごみの減量・リサイクルに関すること	京都市 ごみ	検索
京都市の率先実行の取組、環境会計について	KYOMS	検索

発行 京都市 環境政策局 環境企画部 環境総務課

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 西庁舎 2 階

TEL: 075-222-3450 FAX: 075-222-3426

E-mail: k-kyosei@city.kyoto.jp

環境レポートはホームページでもご覧いただけます。

京都市 環境総務課

検索

平成 23 年 3 月 発行 京都市印刷物 第XXXXXX号



※この冊子は再生紙を使用しています。